

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	埼玉県飯能市	全般	◎	○	—	○

現状・課題

飯能市など県西部の山間部はイノシシ、シカの生息密度が高く、県内被害額の過半を占める。一方、捕獲を主に担う地域猟友会の高齢化が進み、特に急斜面等の多い山間部ではわなの見回りも難しい。また、現行は捕獲数以外のデータが得られていない。効果的な対策に向けては、捕獲労力の軽減及び生息状況等のデータの収集が必要。

事業概要

- ・センサーカメラと捕獲わな監視システムによる、わなの見回りの省力化
- ・捕獲データから作成する調書やカメラで得られた画像を元にマッピングし、生息状況・捕獲情報等を可視化し、捕獲に活用
- ・生息状況の画像は野生動物生態研究者に提供し、捕獲技術の向上に活用

活用機器（機器名：メーカー）※交付金活用外の機器を含む

- ・センサーカメラ
- ・捕獲通知機器
- ・捕獲調書システム

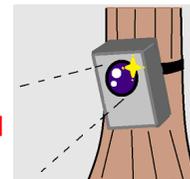
モデル地区の普及範囲

- ・市内別地域
- ・県内外

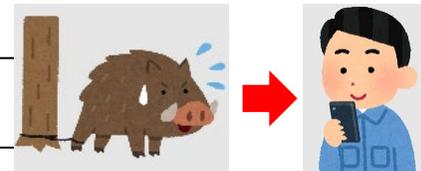
【イメージ】

収集したデータを現場にフィードバック

わなの設置場所にセンサーカメラをセット



動物を確認するとプッシュ通知が届く



・害獣が掛かっていた場合は捕獲処分を行い、個体情報をスマホで入力
・掛かっていなかった場合は生息情報として画像を分析



・捕獲調書が自動作成される
・生息状況等をマッピングに表示

